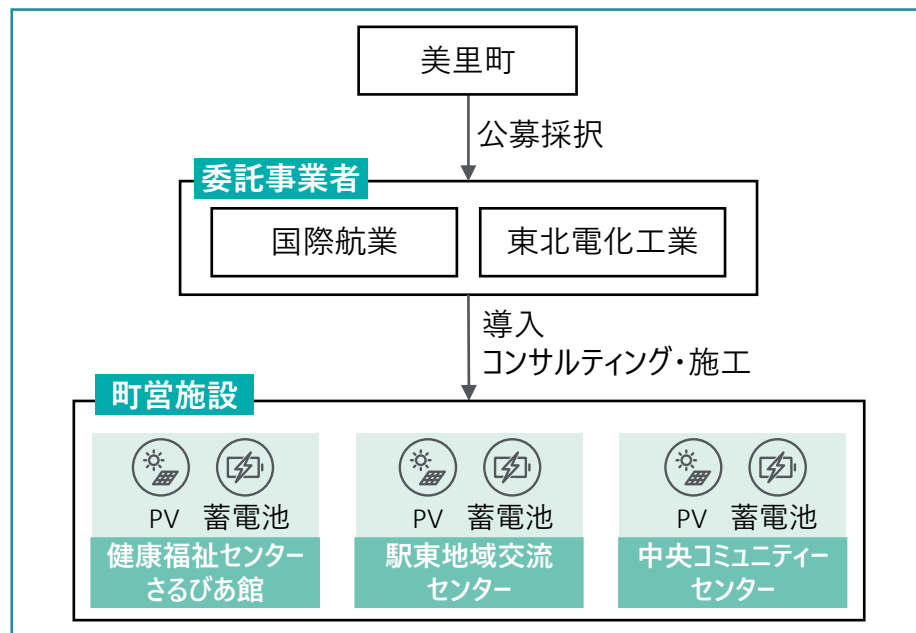


避難施設である町営施設に太陽光発電と蓄電池を設置することで、
地震など災害発生時にも安定したエネルギー供給を実現

事例概要

| | |
|----------------------|--|
| 事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 宮城県美里町 |
| 地域課題 | レジリエンス強化 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 美里町では、避難施設である町営施設3カ所に太陽光発電設備および蓄電池を整備 「令和4年福島県沖を震源とする地震」により町内全域で約7時間にわたる停電が発生した際は、日中に太陽光発電より蓄電池に充電し、蓄電池より電力供給を行い、円滑に避難者の受入準備を実施 |
| 実施状況 (2022年12月現在) | 事業化済み (2020年度稼働開始) |
| 補助事業の利用 | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業) (環境省) |
| CO2削減効果 | 73.56t-CO2 / 年 |

事業スキーム・体制



太陽光発電
(健康福祉センターさるびあ館)



蓄電池
(駅東地域交流センター)